

現場力 拝見!¹⁶

株式会社ソリューションパートナーズ

医療人材ビジネスのパイオニア 世界初のがん早期評価システムに 大きな可能性を直感し代理店契約

代表者 ● 石垣正巳
 設立 ● 平成12年4月
 事業内容 ● 経営・人事戦略コンサルティング、人材紹介・派遣事業、キャリア支援コンサルティング
 本社 ● 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-6
 日本分譲住宅会館5F
 TEL ● 03-3518-2895
 URL ● <http://www.solution-p.co.jp> (看護師サイト)
<http://www.doctor-p.co.jp> (ドクターサイト)

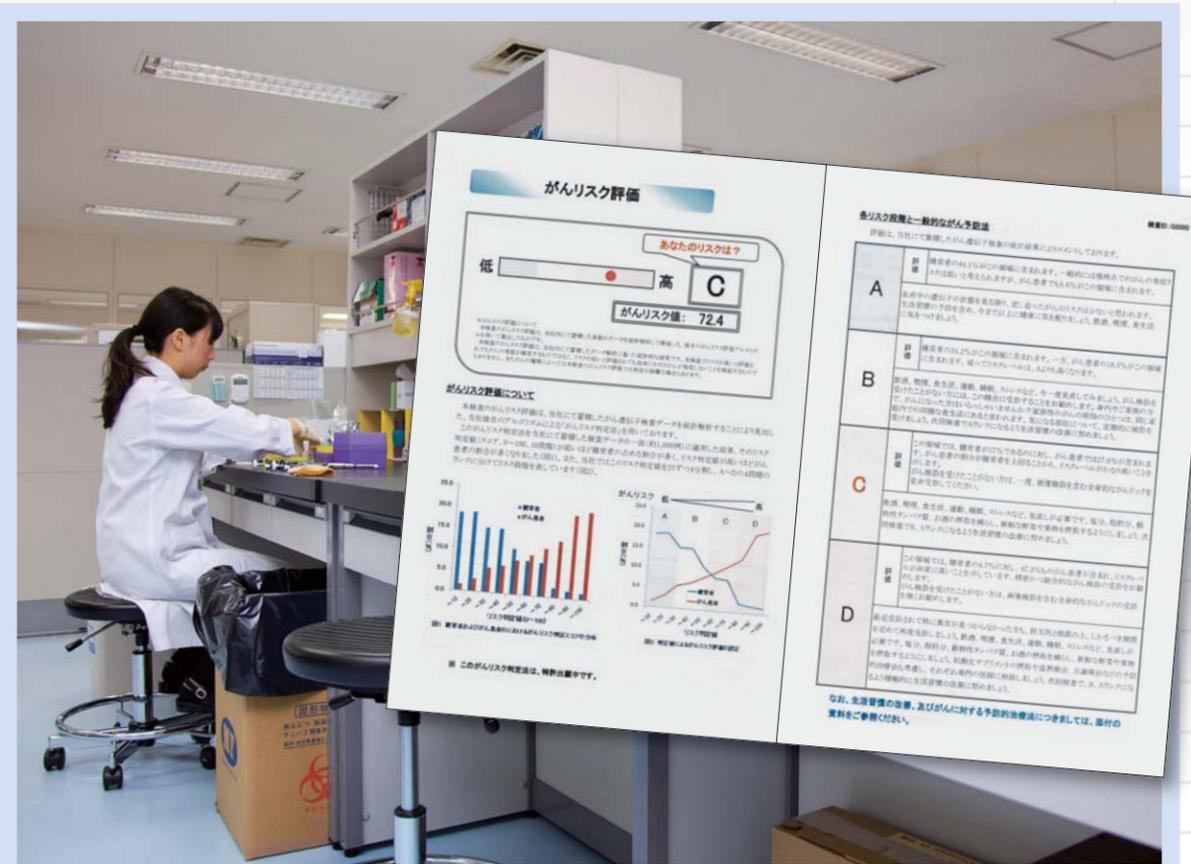
【医】療現場の人材確保の難しさが叫ばれている。この分野における紹介・派遣ビジネスへのニーズが高まるのは当然だ。

株式会社ソリューションパートナーズは、いち早く医療分野での人材ビジネスを開拓した先駆的な存在。大手が進出し競争が激化する現在、信用の高さで存在感を發揮している。

直球勝負で次々と新規開拓 新たな挑戦『Can Tect』

同社は、大手企業で財務を担当していた石垣氏が始めたベンチャー企業。㈱サントリーでのフランス留学でMBAを取得したあと、外資系でリストラクチャリングを専門にキャリアを重ね、独立の運びとなった。

創業当時は、大手メーカー等のリストラに伴う雇用調整の最盛期。再就職支援事業など全般的に請け負った。最初はコネクションもないので、直球勝負の営業。門前払いに



ジーンサイエンス社研究施設と「Can Tect」 検査評価報告書



遺伝子解析



遠心分離作業



血液から遺伝子抽出

光客に「PET-CT」検査受診を提案し実施する。東日本大震災の影響で事業が滞っている部分はあるものの、大きな収穫にも繋がった。

それが㈱ジーンサイエンスの遺伝子検査との出会い。医療ツーリズムのメニューとなるハイレベルな検査について調べていた石垣氏の目に止まったのは、がんのリスクを早期に数値化できるという驚異の評価システム『Can Tect』だった。

**普及によって精度が高まり
部位特定につながる可能性も**

現在、がん検診の主流は画像診断「PET-CT」。しかし5mm程度にならないとがん細胞が発見できない。ところが、ジーンサイエンス社の検査は、がん細胞が5mmになる数年以上前から、がんのリスクが評価できるというもの。

検査は20mlの血液を用いるだけで、大がかりな器材も要らない。ジーンサイエンス社は、

もめげず大手企業の門を叩いた。無論、情熱だけで通じるわけはなく、そこは外資系での貴重な経験と人材募集案件数を武器に積極的な提案を繰り返した。

次第に得意先が増え、業界大手に引けを取らない実績を残していく。しかし雇用調整が一段落することを予見し、新たなビジネス領域にも進出。そのひとつが医療分野だった。

本格参入前には、首都圏の病院の80%以上を訪問、車で1日約40カ所回る日が続いたという。現在も同社の主力事業にもなっている看護師の紹介業務は、このときの努力が実ったものといえるだろう。看護師の分野は、完全に売り手市場だ。応募者の希望を細かくヒアリングし、それにかなう職場を見つけた。ベストマッチとなるよう、面接には同社の営業マンが全国どこでも同行する。

取引が増えると、付帯業務も膨らんだ。医療ツーリズムはその一環で、中国からの観蓄積されたデータで独自に分析し、がんリスクを総合評価。数値化してA・B・C・Dの4段階で判定する。

現状では検査精度は約75%だが、検体が増えれば確率は確実に上がってくる。そして、がんの総合的リスクに止まらず、具体的な部位のリスク表示にもつながる。検査数が増えれば増えるほどコスト的メリットも大きく、販売価格が下がり、普及スピードが加速していくはずだ。

先進的な検査に、ビジネスの可能性と、世の中に貢献できる喜びを直感した石垣氏はすぐに連絡。すると、ジーンサイエンス社も営業パートナーを探しており、両者の方向性は合致した。2011年4月から販売を開始。「予防医療ビジネスの難しさに直面しながらも、可能性の大きさを実感できています」（石垣氏）

先見性と冒険心あふれる企業家らしく、新たなステージにも堂々と挑戦していく。

取材協力：朝日生命 東京統括支社 文京営業所